

あいち・なごや生物多様性ベストプラクティスを受賞

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：増井 敬二）は、「刈谷ふれ愛パーク」を拠点とした環境学習、保全活動が評価され、あいち・なごや生物多様性ベストプラクティスを受賞しました。

【あいち・なごや生物多様性ベストプラクティスとは】

COP10で提唱された「国連生物多様性の10年」（2011～2020年）の最終年にあたる本年、愛知県と名古屋市が、県内で行われた生物多様性の保全や持続可能な利用に関する優れた取り組み事例に対し顕彰を実施

▼受賞内容

テーマ：刈谷ふれ愛パークを拠点とした産官学民の連携による地域に根付く生物多様性保全活動
自然と調和する工場を目指し、ビオトープ、田畑等からなる「刈谷ふれ愛パーク(富士松工場北側)」を2014年5月にオープン。目標とする生物を定め、モニタリングを行うと共に、地域と協力しながら維持管理、幼稚園児から大学生までの環境教育を行うなど、質の高いビオトープを形成している。

▼受賞理由

- ・環境問題に対して自社のビジョンを明確に持ち、2000年当初から取り組みしてきたという長い歴史もあり、具体的な取り組みや活動を企業グループとして実践している
- ・刈谷ふれ愛パークは生物多様性の観点から優れた質があり、多くの生物にとっての生息環境となっている。また、毎年のモニタリングを通じて、しっかり管理がなされている
- ・企業内に限らず、地域住民や子供たちへの環境教育実践の点は大変評価できる。地域と一体となってイベントを企画するなど、地域への貢献も評価できる

トヨタ車体は、これからも地域との共生を目指し、自然と調和する工場づくりの推進を図ってまいります。

トヨタ車体 刈谷ふれあいパーク：<https://www.toyota-body.co.jp/kfureai-park/>



生物多様性保全条約締結国の視察団訪問
〈2019年2月〉



環境学習会
〈2018年9月〉



出前授業（富士松東小学校）
〈2019年7月〉